



平成24年2月6日

各 位

上場会社名 株式会社 シー・ヴィー・エス・バイエリア
 代表者 代表取締役社長 泉澤 豊
 (コード番号 2687)
 問合せ先責任者 取締役CIO 上山 富彦
 (TEL 043-296-6621)

特別利益及び特別損失の計上並びに業績予想の修正について

当社は最近の業績動向を踏まえ、平成24年1月6日に公表いたしました平成24年2月期(平成23年3月1日～平成24年2月29日)の業績予想につきまして、下記の通り修正いたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,484	642	616	△845	△34.23
今回修正予想(B)	27,334	310	247	△634	△25.68
増減額(B-A)	△1,150	△332	△369	211	
増減率(%)	△4.0	△51.7	△59.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年2月期)	28,635	601	650	233	9.46

平成24年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,283	488	473	△876	△35.49
今回修正予想(B)	21,133	156	104	△705	△28.56
増減額(B-A)	△1,150	△332	△369	171	
増減率(%)	△5.2	△68.0	△78.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年2月期)	22,376	434	491	225	9.15

修正の理由

主要要因は、個別業績において、平成24年1月20日付「株式会社ローソンとのフランチャイズ契約締結合意のお知らせ」にて公表の通り、当社は株式会社サークルKサンクスとの企業FC契約が本年2月末日の契約期間満了を持って終了することから、本年3月より「ローソン」ブランドで店舗運営事業を行うこととなりました。

これに伴い、2月末日までに全店舗を順次閉店することによる店舗営業日数の減少を受け、売上が減少する見込みとなったほか、売上総利益の減少により、営業利益、経常利益も大幅に減少する見通しです。

また、特別利益として、新たにフランチャイズ契約締結による契約金などの18億10百万円を計上する一方、すでに計上を見込んでいた資産除去債務、災害損失や保有する銀行株式の株価下落による投資有価証券評価損、株式会社サークルKサンクスへの解決金のほか、コンビニ店舗運営を行うための固定資産やリース資産のうち、継続して使用することが出来ない資産の、除去損失や解約損失などの計9億51百万円を、新たに特別損失として計上することとなった結果、当期純損失が7億05百万円となる見込みであります。

なお、今回新たに計上した特別利益及び特別損失の金額については、最大金額であり、今後決定する固定資産やリース資産における除去、清算方法もしくは簿価での売却に伴い変動する恐れがありますが、変動する金額は、特別利益、特別損失ともに同額の減少となることから、追加で当期純損失に与える影響は軽微であると判断しております。

連結業績についても、個別業績予想の修正に伴い営業利益、経常利益が大幅な減少となるほか、当期純損失が6億34百万円となる見込みであります。

なお、投資有価証券の評価方法につきましては、四半期洗替え方式を採用しております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上